

## ＜第94回キャンパス・サミット資料＞

平成26年12月18日

社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告  
坂井宏光

**1. ビオトープ活動～** 平成26年度のビオトープ活動は、今年最後で12月13日（土）第35回自然観察会を開催しました。テーマは「昔ながらの伝統文化を楽しもう～クズの蔦で籠あみ体験」活動で、一般3名（途中飛び入り参加者を含む）、学生18名、大学院留学生2名の23名が参加し、楽しく交流しました。寒さも何のその、籠作りに没頭して、めいめい大作に挑んでいました。下の写真3枚は左から、ビオトープ周辺の自然観察とクズの蔦を採取しているところ、採取したクズの蔦の蔦で籠編み体験学習をしているところです。



平成18年から今年度35回の参加者の延べ人数は、9年間で1,021名となりました。継続的な参加者のパワーは素晴らしく、地域の優れた環境人材となります。来年も春、夏、秋、冬の4回の自然観察会を開催する予定です。今後も地域の環境活動拠点として、継続的に環境学習・環境教育を推進していきます。

**2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～** 本プロジェクトは平成21年から活動しています。そして、平成24年10月から商店会の皆様と学生たちが連携・協力して、新たに「緑のカーテンづくり」から様々な美しい季節の花を植えたプランターの設置活動を行っています。10月15日（水）に25店舗の参加で、プランターに季節の綺麗な花々、ガーデンシクラメンやパンジーなどの植え付け作業を行いました。今、寒さに負けず美しい花を咲き誇っています。（下の写真12月15日撮影）福工大前駅商店街の街角に花や緑のある美しい風景や潤いのある環境配慮の街づくりが定着してきました。今年から来年に向かい是非、商店街での花や緑の成長を見ながらお買い物や散策などをお楽しみください。

